

歩こうかい 3 月例会(通算 371 回)



三英傑ゆかりの地を訪ねる②



名古屋城下・白壁の町をあるく

2022 年 3 月 9 日(水)

天気:曇り ・参加者 13 名 <12,000 歩>

地下鉄市役所駅・・・名古屋市市政資料館・・・白壁・主税 <small>ちから</small> ・榑木町 <small>しゅもく</small> 並み保存地区・・・旧豊田佐助邸・・・
カトリック水主町教会 <small>かこ</small> ・・・旧川上貞奴邸・・・主税町長屋門・・・名古屋陶磁器会館・・・徳源寺・・・
徳川園・・・覚音寺・・・百人町筋・・・情妙寺・・・自然院・・・物部神社・・・JR・地下鉄千種駅

新型コロナウイルス感染者数は 3 月に入っても高止まりで、まん延防止等重点措置は延長となったが、人との接触は少ないとの判断で予定通り開催。天気予報は曇りのち晴れで徐々に暖かくなるとのことだったが、どんよりとした曇り空の肌寒い一日となった。

豊臣秀吉ゆかりの地は 2 月例会が中止で次回以降となり、今月は徳川家ゆかりの名古屋城下・幕藩時代をふりかえるコース。江戸から明治、大正へと続く名古屋の近代化の歩みを伝える建物などの貴重な歴史遺産が残され、「文化のみち」と名付けられている。

名古屋城に近い地下鉄市役所駅を 9 時 30 分スタート。名古屋城南部一帯(三の丸地区)は官庁街になっていて、10 分程歩いて外堀を越えると名古屋市市政資料館に着く。ここは旧控訴院・地方裁判所で、ネオ・バロック様式の外観が美しい歴史的建造物。館内を見学し集合写真を撮る。



外堀の石垣

奥の建物は愛知県東大手庁舎



名古屋市市政資料館

20分程で武家屋敷の面影をしのぼせる白壁・主税・榎木町並み保存地区に着く。時代と共に建物も変わり、今は多くのマンションが建てられているが、景観を損なわないよう道に面した塀は工夫されている。



文化のみち百花夏草

保存地区内には、兄のトヨタ創業者・豊田佐吉を支えた実業家・豊田佐助邸、陶磁器貿易商として財をなした春田鉄次郎邸など、大正時代に建てられた景観重要建造物が残されている。



左・旧春田鉄次郎邸 : 右・旧豊田佐助邸

旧豊田佐助邸の庭





旧豊田佐助邸内を見学



1F 廊下から眺める庭



2F 廊下から眺める庭・手摺が低い

保存地区の東端には、大正時代に「日本の女優第1号」と言われた川上貞奴邸(移築復元)、江戸時代から当時のまま残る武家屋敷長屋門がある。



文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)



主税町長屋門



しばらく東へ進み名古屋陶磁器会館に立ち寄り、さらに 20 分程歩くと織田信長の次男信雄由来の徳源寺に着く。名古屋大空襲で焼失を逃れた佛殿には銅製の涅槃仏が安置され、後部に五百羅漢が祀られている。境内を回り、昼食場所の徳川園へ。



焼失を逃れた 徳源寺の裏門と佛殿

徳川園の休憩エリアで昼食を楽しんだ後、覚園寺、情妙寺、自然院に立ち寄りながら 30 分程歩き、<sup>ものへの</sup>物部神社に参拝後、近くの喫茶店でしばらく<sup>ちくさ</sup>歓談。千種駅まで 10 分程歩き 14 時頃解散する。



肌寒い中でも楽しい昼食



記: 奥村正忠